



第11回

東海ろうきん

はたらく人に ありがとう メッセージ 入賞作品集

おとうさん、おかあさんへ。

社会人になった子供へ。

職場の上司、部下、同僚へ。

いつも利用するお店で笑顔をくれる人のへ。



働いている人は、あなたのまわりにたくさんいるはず。

普段言えない「ありがとう」の気持ちをつづってみませんか。



理事長あいさつ



東海労働金庫 理事長

土肥 和則

「はたらく人にありがとう」メッセージは東海ろうきん設立10周年の記念事業として始め、「はたらく人への感謝の気持ち」、「はたらくことの意義」を考えていただく、勤労者のための福祉金融機関である「ろうきんらしさ」に溢れる事業であります。第11回目となる今年度は2,005通ものご応募をいただきました。本誌は入賞作品のみの掲載となります、400字と限られた文字数の中で紡がれた作品はどれも素晴らしい、はたらく人がとても魅力的に描かれ、感謝の気持ちが伝わる心温まるものでした。ご応募いただきました皆様方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

わが国では、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、過去に経験のないほどの大変深刻な状況となっています。経済活動においては、企業の生産や輸出活動等に一部持ち直しの動きも見られますが、力強い回復には遠く及ばず、ワクチンの早期普及などの抜本的な対策が求められる状況です。人と人の接し方についても大きく様変わりしました。情報技術の発達も後押しする環境下で、面と向かって会話をする機会は急速に減少し、人ととのつながりが薄れしていくことも危惧されています。

多くの人々が、目に見えぬ不安と戦う厳しい状況ではありますが、「はたらく人」への心温まるメッセージや感謝の気持ちが多く寄せられる本事業を継続することで、家族や仲間との絆を深め、互いを思いやる優しい気持ちに溢れる社会の実現に少しでも寄与できればと考えています。

東海労働金庫は、はたらく人たちの暮らしと財産を守り、身近で頼られる福祉金融機関として、これからもはたらく人たちとそのご家族の生活を応援していく所存です。

また本事業に賛同しご支援をいただきました愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市、および同教育委員会、ならびに安城市・岡崎市・蒲郡市・刈谷市・高浜市・田原市・知立市・豊川市・豊田市・豊橋市・西尾市・碧南市・幸田町・愛西市・あま市・一宮市・稻沢市・犬山市・岩倉市・大府市・尾張旭市・春日井市・江南市・小牧市・瀬戸市・知多市・津島市・東海市・常滑市・豊明市・長久手市・日進市・半田市・弥富市・阿久比町・大口町・大治町・蟹江町・武豊町・東郷町・豊山町・東浦町・扶桑町・南知多町・美浜町・飛島村・恵那市・各務原市・可児市・郡上市・閔市・中津川市・瑞浪市・美濃市・美濃加茂市・坂祝町・御嵩町・伊賀市・いなべ市・尾鷲市・龜山市・熊野市・桑名市・鈴鹿市・津市・名張市・四日市市・松阪市・朝日町・川越町・木曽岬町・紀北町・菰野町・東員町・明和町の各教育委員会、中日新聞社、東海ラジオ放送に心から御礼申し上げます。

目次

理事長あいさつ 1

小学生の部 3

中学生の部 5

一般の部 7

特別賞受賞団体 9

ご協力いただいた関係者様 10



第11回 東海ろうきん
はたらく人に
ありがとう
メッセージ



©ROKIN

小学生の部

大賞

お母さんへ
いつもありがとう。私にはお父さんがいません。だから十一才の今まで、お母さん一人で育ってくれたよね。シングルマザーなだけではなく、耳の聞こえないお母さんにつて私は育てるのはとても大変だったと思います。ここまで私を育てくれたこと、感謝します。でも、私はよくお母さんに反こうしてしまうよね。自分のために言つてくれているのに、いつもごめんね。そして、本当にありがとうございました。私はお母さんに毎日すばらしい体験がとう。お母さんのもとに生まれて来ることができたから、手話に出会えて手話ができるようになります。私は毎日とても幸せです。これまで手話を教えてもらっています。それは手話です。お母さんとの間に生まれて来ることができたから、手話をよろしくね。大好きだよ。お母さん。いつか私がお母さんを幸せにできるようになるね。

おおき ももか
大木 桃橿さん

愛知県安城市 6年生



入賞

お母さんへ
ぼくのお母さんは、獣医さんです。
ぼくは、大きな犬が苦手なので、お母さんの仕事は、二わそうで嫌だなと思つていました。でもこの間お母さんの働いている動物病院に遊びに行つた時、お母さんが元気のない大きな犬に注しやをしたあとにその犬が元気になり、お母さんにあまえだしたのを見て、お母さんはすごいなと思いました。そしてその犬は、ぼくのあとをついてあるいてきてかわいいなと思いました。その大きな犬のかい主さんもとてもうれしそうな顔をして、いのをみて、犬だけではなくて人の心も助ける仕事なんだと知りました。お母さんはいつも家ではおこりんぼうでゲームもぜんぜんさせてくれないし、大嫌いになつてしまふこともあるけど、ぼくは嫌いになつてしまふこともあるけど、ぼくは働いているお母さんを見てかつこいいなと思つたし、心からいつもありがとうと思つました。

ぼくは、じぶんの一日をかいてみました。
あさおきて、まずトイレにいきます。みずを
ながします。チャリン。かみをつかつたらチ
ヤリン。でんきをつけます。チャリン。テレ
ビをつけます。チャリン。ごはんをたべます。
チャリン。はをみがきます。水をたします。チ
ヤリン。チヤリノ。

あさおきて、二十分で七チヤリンです。
ぼくがなにかをするたびに「チャリン」とお
金がかかることに気づきました。

でもどうしてスイッチをおすときれいな水
ができるのだろう。パパにきいてみると、「じよ
うかセント一できれいにしているそうです」。
そうおもうと、でんきやかみもだれかがはた
らいているからぼくたちがつかえています。
さいしょぼくはかぞくはかぞくのために、
はたらいているパパにありがとうのさく文を
かこうとおもつた、けどいまははたらいで
るたくさんの人たちにありがとうといいたい
です。「いつもありがとうございます。」

かな や ゆうすけ
金谷 優祐

愛知県尾張旭市 5 年生

こばやし りゅうげん
小林 竜玄さん

愛知県尾張旭市 1 年生

ぼくは、コロナウイルスのせいで、三月から五月まで、休校になつて、家にいた時に思つたことがあります。

それは、お母さんが毎日、朝から「はんをあつたり、洗たくをしたり、そうじをして、会社に行つて、また昼に帰つてきて、ぼくの手をはんを作つて、また仕事に行って帰つてきたら、洗たく物を取りこんで、たたみすぐに入食の準備をします。そんな姿を見て、とても大変だなと思いました。毎日、お母さんは、つかれて、ストレスがたまつているよう」で、「早く学校が始まつて、給食があればいいのにない」といつていきました。ぼくは、家事を手伝いたいと思つたし、毎日、こんだてを考えている母さんや給食を作つている人たちに、元気で、過ごせて、いる事に「ありがとう」と思いました。

こんなふうに、世の中で、働いている人に支えられていることに、気付いて、感謝の気持ちがわいてきました。

ほくのじいじは、魚やをしていました。冬前は、「魚末」です。四十二年間は、たらいでいましたが、さい近くお店をしめました。じいじは、あさ早くおきて、けいトラにのりいちばへ行きます。ぼくもいちばへ行きたくて、早起きしました。すごくねむかつたです。いちばでのじいじは、魚やのぼうしをかぶつていて、とてもかっこよかったです。いつもいえにいるじいじでは、ありませんでした。あさ早くて、よるもおそいし、休みも少ないへんなしことだと思いましたが、じいじは自分の買つた魚や切つたさしみがうれるのがうれしいと言つていました。ぼくも、じいじの切つてくれたさしみが大きです。

お店がなくなるのはいやだけど、じいじもお店も、みんなのためにがんばつてくれて、しことがしたいです。

しらいわ りんたろう
白岩 凜太郎さん

愛知県あま市 6 年生

やまなか るい
山中 琉生さん

三重県鈴鹿市 2 年生

中学生の部

大賞

「わたしは遊んでばかりいるんだわ。それが祖母の口癖です。祖父は毎日朝から夕方まで屋根のペンキ塗りや剪定などの仕事をしています。祖母はそんな祖父と自分を比べて遊んでばかりいるんだわ」と言つています。ですが、本当にそののでしょうか。祖母は毎朝、祖父の弁当を作り、軽トラが見えなくなります。まるで手を振り笑顔で祖父を見送ります。その後、十二時のサイレンが鳴るまで畑で草むしりや野菜の収穫をしています。毎日しゃがみこんで作業をするのでズボンを履いています。といふのに膝が真っ黒に日焼けしています。夕方には汗だくになるほど頑張った祖父の帰宅時間に合わせて風呂を沸かし、朝同様、笑顔で祖父を迎えます。どうですか、おばあちゃん。おばあちゃんとおじいちゃんと同じくらい仕事をしているよ。遊んでなんかいいなあからね。二人が支え合つて頑張つて、私の私はちゃんと見ていよいろいろな働きがあることを教えてくれてありがとう。

おおもり
大森 真愛さん

岐阜県可児市3年生



入賞

私の母は、庭師をしている。しかし母は、高校が家政科、エレクトーンで専門学校を出している特殊な生い立ちの「女性」だ。

庭師は男社会だから母はすごく苦労してきたり、辛いストレスでつい家族に当たつた時期もあつたが、数年前母は自分の造園を起業し今、世界で一番輝いている。

そんな母を見ていると、なんだか自分も何にでもなるし、努力すれば何でも出来る気がしてくる。現場職は肉体労働だし泥くさいイメージがあるけれど、母の造つたお庭は上品ですごく美しくて華やかだった。

それは母が自分の仕事に誇りを持ち、楽しみながら仕事をしているからだと思う。こんな格好良い母を持つた私なら、母の様に強くたくましく生きれるし、今私の前に立ちはだかつた高校受験も絶対やりきれる。

私の母は、庭師をしている。そして、私の母は、人に笑顔や勇気をあたえる力を持つてゐる。きっと私も。

私は七十代の祖母がいる。祖母は元気で優しくて、活潑で私は祖母のことが大好きだ。そんな祖母は今、マツサージ師として働いている。外に出ることが困難になつた人など治療を受ける理由は、人それぞれだ。祖母は月に一回ほど、私の親に治療することもある。そのときの祖母は私のいつも見ている祖母とはまるで、全く別人のようだ。私は理解することはできない言葉を言つたり、真剣に身体と向き合つていた。私はその姿に「かっこいい!」以外言葉がでなかつた。ある日、祖母は私にこう言つた。

「ばあちゃん彩花ちゃんが立派な大人になるまでいっぱい働くよ。彩花たちにいっぱいおいしいもの食べてもらわな。」

私はこの言葉を聞いたとき、なぜか涙がでそうになつた。仕事をしている祖母も、私たちのはあちゃんをしている姿も全てかっこいい。本当に私の祖母であつてくれてありがとう。

いつまでも大好きだよ。

おおたか くるみ
太高 来海さん

愛知県名古屋市 3 年生

おかもと いろは
岡本 彩花さん

三重県鳥羽市 3 年生

授業や、習い事でやっていた器械体操ができるなくなりました。小一から楽しみにしていた組体操もできなく、笛を吹く役割をもらつたのに運動会の日に休みたいと思うほど私はシヨツクで苦しかつたです。

そんな私に寄り添つて支えて下さった小学校の先生がいます。その先生は私に「あなたのこと信していいから笛を吹く役割を任せます。苦しいかもしないけど、全力で頑張つてほしい」と言つて下さいました。先生のおかげで私は頑張ることができました。思いだすだけでも感謝の気持ちでいっぱいになります。勉強を教えることだけが先生の仕事だと思つていました。しかし、それだけではないと知りました。私の周りには働く人がたくさんいます。その方々のおかげで幸せな生活を送れます。働く人の存在をあたりまえだと思はず、しつかり感謝しています。本当にありがとうございます。

「お母さんつていう仕事は、家族のためにつて思うと全然苦じやないよ」笑いながら母が言つた。「働く人」の言葉で僕は母の姿が眞つ先に頭に浮かんだ。それは「外で仕事をする母ではなく、家事をする母の姿だった。

僕は長い休校中、家事をする母の姿を真近で見て、いろいろなことに気付いた。当たり前のようにやつてもらつていた事がいかに大変でありがたいことなのかを実感した。温かいご飯、きれいにたたまれた洋服、片付けられた部屋の中での僕は生活していく。

ある日、母の手伝いをした時に「ありがとね」「助かつたわ」と言われ、僕はとても嬉しかつた。それと同時に自分を振り返り、当たり前だと母へ感謝する気持ちが足りなかつたことが恥ずかしかつた。いつも僕のそばにいるてくれる母に言つてなかつた、言えなかつたありがとが、あふれ出てきた。これからは、声に出さなきや伝わらない思いを伝えていくと思つた。「母さん、いい?」もありがとう。

かわむら れいあ
川村 恋愛さん

愛知県江南市 2 年

こくほあやと
小久保 彩人さん

岐阜県可児市 1年生

一般の部

大賞

朝六時四十分……。この時間になると、父は母の運転する車で駅に向かいます。小学生だった私はちょうど起きる時間。毎朝早起きして会社に行く父はしんどそうでした……。

ある日、父の誕生日を一ヶ月後に控え、私は覚えたての編み物で、父にマフラーを編むことにしました。父に内緒でコツコツ編み、決して上手ではないマフラーが出来上がりました。誕生日、父に渡すととても喜んでくれ、次の日には、そのマフラーをつけて会社に行つてくれました。次の日もその次の日も、ずっと……。結局、定年まで毎年冬には、私が作つたマフラーをつけて出勤してくれました。父が亡くなつて一年半。実家にある、そのマフラーを見る度に、私は父が毎日働いてくれたことに感謝し、「お父さんありがとうございます」と、心の中でつぶやいています……。

なかざわ かおり
中澤 加織さん

愛知県碧南市



入賞

『おかあさんへ
いつも学校のお金をはらつてくれて、ありが
がとう。いつも、せんたくをしてくれてあり
がとう。毎日、「こはんを作ってくれて、あり
がとう。いつも、ほくをおこしてくれて、あり
がとう。いつも、あらいものしてくれて、あり
りがとう。
大きすぎだよ!! これからもよろしくね。やけ
どなおすのがんばつてね。』
当時、小学二年生の息子が書いてくれたも
のです。これを読むたび、たまらなく幸せな
気持ちになり、どんな事にも立ち向かえる勇
気が沸き上ります。
こんな素敵なお言葉を、私も亡くな
った父親に、一度でも伝えていたら良かつたと
何度となく考えます。
昨日は、駅でエスカレーターの修繕をして
くれている人に心の中では感謝しても、通り
過ぎてしましました。声に出して「ありがと
う」と言つたら良かつたです。

母は要領が良い。その反面、とつても不器用だ。週四日間の仕事をこなしながら家事をして野球部に所属している弟のサポートを中心に私たち家族を支えてくれている。毎日四時半に起きてからお弁当を作り、笑顔で私たちを見送ってくれる。そんな母は昨年、子宮筋腫のため手術を受けた。家に帰ってきても、笑顔で「おかえり！」と言つてくれる母がないない。毎日母がこなしていた家事は父、私、弟で協力してこなした。日々私たちのために動いてくれている母に感謝の気持ちが溢れた。退院後も私たち家族に頼ることなく、全ての家事をこなそうとしていた。人に頼ることなくいろいろなことを器用にこなしていくく。私はそんな母に頼つてばかりだったと感じた。それからは家事だけでなく、母の体調にも気を遣い動くようになつた。そんなとき母がこぼした『ありがとう』。私はその言葉を聞いてとても嬉しかつた。今では母に毎日ありがとう』と感謝の気持ちを伝えていく。

かつた さゆり
勝田 小夕里さん

爱知县名古屋市

た ぐち あ ゆ な
田 口 紗 夢 奈 さん

爱知县典中古

「お父さんお母さんありがとうございます。」
僕は小さい頃、体が弱く病院へ何度も入院を繰り返していました。お父さんとお母さんが交替で付き添いをしてくれました。三重県では手術ができなかつたので横浜の病院で手術をしてもらつていました。僕が何度も入院をするのでお父さんは仕事を辞めて僕に付き添つてくれていました。その代わりお母さんはまだ幼い弟の世話をと家事と仕事をしながら頑張つてくれていたんだと最近になつて改めて知りました。お父さんはたまに厳しい時もあるけど、いつも前向きで僕を強くしてくれました。もし僕のお父さんがお父さんでなかつたら、僕は弱い人間にになつていかかもしれません。前向きに生きることを教えてくれたお父さん、ありがとう。お母さんは色々相談に乗ってくれたり耳が聞こえづらい僕に手話を教えてくれてあります。今まで育ててくれたお父さん、お母さん、さんありがとうございました。

昭和十四年生まれの父は今年八十二歳になる。五男で若くして鑄物を身につけ新しい土地で工場を営んだ。ハブルもあり苦勞が実つた時代だつた。そんな父は厄年の時、脳梗塞になつた。私が中学二年の時だつた。朝、身体が動かない父に母の指示で救急車を呼んだのを覚えている。父は人生の半分をリハビリと共に生活している事になる。ありがとうを伝えたいのは母だ。若くして右半身にマヒが残つた父、子とも二人、鑄物工場を切り盛りした母。工場は閉めたが先のみえない生活不安だつたと思う。愚痴一つ言わす二人の子どもを大學までいかせてもらひ今は孫四人。先日父が三日間の入院をした。母は病院に三日とも泊まり父のそばにいた。「病院だから任せたら?」と伝えたが母の気持ちは変わらない。知らない土地で鑄物工場を始めた二人。苦労も幸せも共に過ごした二人。あなたの達のような夫婦になれるかな?ありがとう私の名前は「幸(さち)」

なか い けんと
中居 劍さん

三重県松阪市

ふじしま さち
藤島 幸さん

三重県四日市市

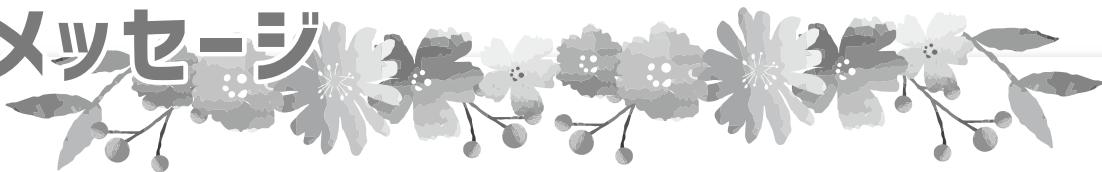


第11回

東海ろうきん

はたらく人に ありがとう メッセージ

特別賞受賞団体



校学校学校学校学校学校学校学校学校
中中中中中中中中中中中中中中中中等
山中川石山保南陽高田浪児中高野にじ学園
北郊篠子萩原南陽高田浪児中高野にじ学園
立西猪小豊綠飯金瑞可北南日西分校
立立立立立立立立立立立立立立立立
市市市市市市市市市市市市市市市市市市
屋屋屋屋屋屋屋屋屋屋屋屋屋屋屋屋屋屋
市市市市市市市市市市市市市市市市市市
立市立市立市立市立市立市立市立市立
勢田務阪浪児張重県立特別支援学校西日野分校
古古勢田務阪浪児張重県立特別支援学校西日野分校
名津四名伊豊各松関瑞可名三重県立杉の子特別支援学校石薬師分校
自治合フタバ産業労働組合松阪中部支部分
名古屋鐵道労働組合鐵道中部支部分
荏原風力機械労働組合
JFEプラントエンジニアリング労働組合
NTN労働組合桑名支部分
自治労松阪市職員組合
ユナイテッド・セミコンダクター・ジャパン労働組合
公立学校共済組合東海中央病院職員労働組合
常滑市職員労働組合
日鉄テックスエンジニアリング名古屋労働組合
名古屋市職員労働組合環境局支部分

(順不同 98団体様)

たくさんのご応募ありがとうございました



ご協力いただいた関係者様

第11回「はたらく人にありがとう」メッセージ

入賞作品朗読者



東海ラジオ放送 パーソナリティ 神野三枝さん



東海ラジオ放送「タクマ・神野のどーゆーふー」でお馴染みの
東海ラジオ放送パーソナリティ、神野三枝さんに大賞作品・入賞作品を朗読していただきました。

朗読いただいた音源は
特設ページにてご視聴いただけます。



神野三枝さんからのコメント

新型コロナウイルスの感染拡大により激動の1年となった2020年。

“はたらく人”にとって、過去に無い苦渋の選択を強いられた年でした。

同時に“はたらく人”に寄り添う家族にとっても、不安と不自由で心が落ち着かなかった一年…。

この状況下での今年の『はたらく人にありがとう』メッセージには格別な「ありがとう」の思いが込められ、朗読をする私も胸が熱くなりました。

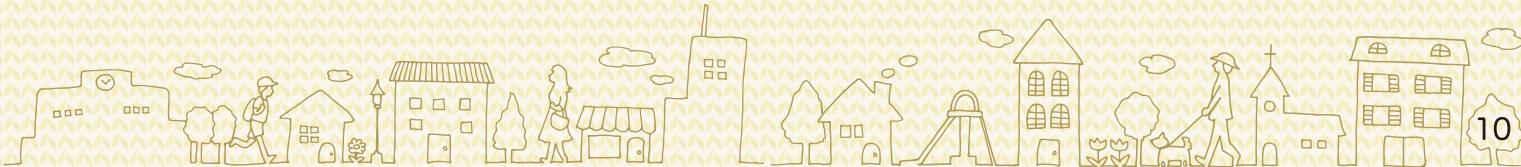
『はたらく人にありがとう』メッセージが気付かせてくれるものとは何でしょう？

“大切な人の存在”かもしれませんね。

後援団体

愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市・愛知県教育委員会・岐阜県教育委員会・三重県教育委員会・名古屋市教育委員会・安城市教育委員会・岡崎市教育委員会・蒲郡市教育委員会・刈谷市教育委員会・高浜市教育委員会・田原市教育委員会・知立市教育委員会・豊川市教育委員会・豊田市教育委員会・豊橋市教育委員会・西尾市教育委員会・碧南市教育委員会・幸田町教育委員会・愛西市教育委員会・あま市教育委員会・一宮市教育委員会・稻沢市教育委員会・犬山市教育委員会・岩倉市教育委員会・大府市教育委員会・尾張旭市教育委員会・春日井市教育委員会・江南市教育委員会・小牧市教育委員会・瀬戸市教育委員会・知多市教育委員会・津島市教育委員会・東海市教育委員会・常滑市教育委員会・豊明市教育委員会・長久手市教育委員会・日進市教育委員会・半田市教育委員会・弥富市教育委員会・阿久比町教育委員会・大口町教育委員会・大治町教育委員会・蟹江町教育委員会・武豊町教育委員会・東郷町教育委員会・豊山町教育委員会・東浦町教育委員会・扶桑町教育委員会・南知多町教育委員会・美浜町教育委員会・飛島村教育委員会・恵那市教育委員会・各務原市教育委員会・可児市教育委員会・郡上市教育委員会・閔市教育委員会・中津川市教育委員会・瑞浪市教育委員会・美濃市教育委員会・美濃加茂市教育委員会・坂祝町教育委員会・御嵩町教育委員会・伊賀市教育委員会・いなべ市教育委員会・尾鷲市教育委員会・龜山市教育委員会・熊野市教育委員会・桑名市教育委員会・鈴鹿市教育委員会・津市教育委員会・名張市教育委員会・四日市市教育委員会・松阪市教育委員会・朝日町教育委員会・川越町教育委員会・木曽岬町教育委員会・紀北町教育委員会・菰野町教育委員会・東員町教育委員会・明和町教育委員会・中日新聞社・東海ラジオ放送

(順不同 全85団体・企業様)





東海労働金庫

〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目7番12号
TEL:052(243)8811(代)